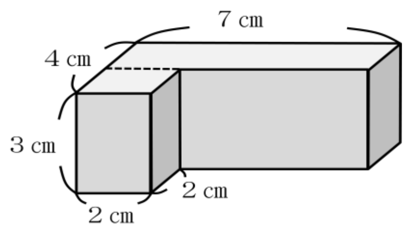
2	正答例と解説 ５年「直方体や立方体の体積」	〔考え方のポイント〕 **立体を直方体にして考えよう**

(1)の正答例

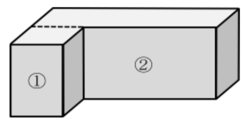


式　２×２×３＋２×７×３

　＝12＋42

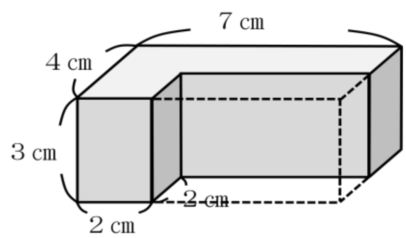
　＝54

（答え　54 cm³）



①は２×２×３
②は２×７×３です。
２つの直方体の体積を合わせます。

(1)の正答例

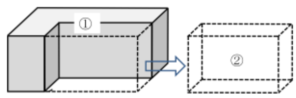


式　４×７×３－２×５×３

　＝84－30

　＝54

（答え　54 cm³）



①は４×７×３
②は２×５×３
大きな直方体から，つけ加えた直方体をとります。

---

(2)の正答例

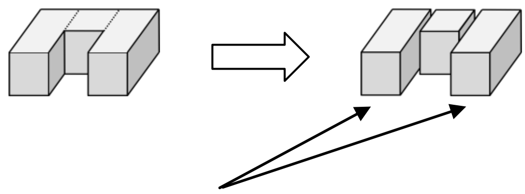
式　６×３×４×２＋３×３×４

　＝144＋36

　＝180

（答え　180 cm³）

〈３つの直方体にわける考え方〉



<u>辺の長さが等しい直方体</u>だから，
６×３×４<u>×２</u>

(2)の正答例

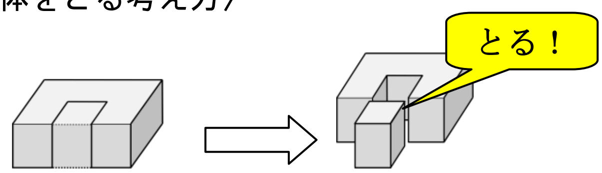
式　６×９×４－３×３×４

　＝216－36

　＝180

（答え　180 cm³）

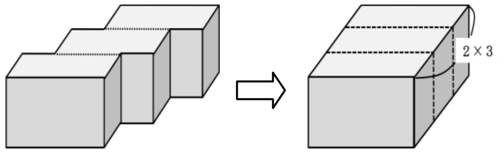
〈１つの大きな直方体とみて，つけ加えた直方体をとる考え方〉



６×９×４　－　３×３

(3) の正答例

答え（　ア　）
わけ
　体積を求めるには，立体を直方体にして考えればよい。
　まず，点線でわけた３つの直方体をずらして合わせる。すると，１つの直方体になる。直方体のたての長さは，２cmが３つ分なので２×３と表すことができる。
　直方体の体積の公式は，たて×横×高さなので，２×３×６×４となる。

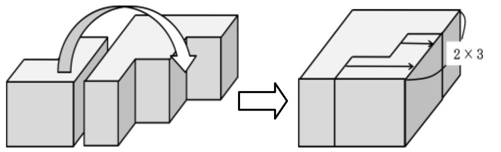


３つにわけて，ずらして，合わせて，１つの直方体にします。

解答のポイント！
○もとの立体を直方体にして考えること
○２×３がたての長さを表していること
○直方体の体積の公式を使うこと

(3) の正答例

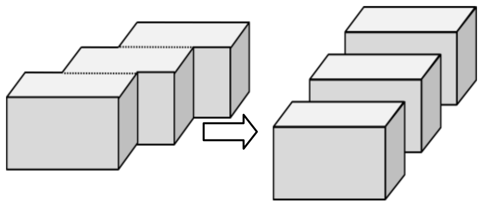
答え（　イ　）
わけ
　体積を求めるには，立体を直方体にして考えればよい。
　まず，点線で２つにわけた左の立体を移して合わせる。すると，１つの直方体になる。次に，直方体のたての長さは，２cmが３つ分なので，２×３と表すことができる。
　直方体の体積の公式は，たて×横×高さなので，２×３×６×４となる。



２つにわけて，移して，合わせて，１つの直方体にします。

(3) の正答例

答え（　ア　）
わけ
　体積を求めるには，立体を直方体にして考えればよい。
　まず，立体を点線でわける。すると，大きさの等しい３つの直方体になる。
　次に，直方体の体積の公式は，たて×横×高さなので，１つの直方体の体積は２×６×４と表すことができる。
　大きさの等しい直方体が３つあるので×３で，２×６×４×３と表すことができる。
　かけ算だけの式の場合，どこから計算しても答えは変わらないので，順序を変えて２×３×６×４と表すことができる。



点線でわけて，大きさの等しい３つの直方体にします。

解答のポイント！
○もとの立体を直方体にして考えること
○３つの直方体の大きさが等しいこと
○直方体の体積の公式を使うこと